

Perplexity「Portable Computer」の Windows PC 提供に関する調査報告

— ローカル実行型 AI エージェントの事実確認・技術構成・反響・影響 —

調査時点：2026 年 9 月 15 日

Claude Fable 5.1

凡例：本文中の上付き番号は文末「参考文献」の番号に対応する。「確認された事実」は一次ソースまたは複数の報道で裏付けられた事項、「分析・推測」は筆者の評価・見立てである。法的・事実に未確定の事項には「とされる」「との報道」を付した。

1. 要旨

「Perplexity、ローカルの Portable Computer エージェントを Windows PC に提供」との報道は実在する。Perplexity は 2026 年 9 月 14 日、ローカル実行型 AI エージェント「Portable Computer」（クラウド版エージェント「Perplexity Computer」のローカル版）を Windows 版 Perplexity アプリで提供開始した¹。NVIDIA との共同発表であり、Perplexity 公式ブログと NVIDIA 公式ブログの双方に一次ソースが存在する^{1,2}。

「ローカル」の意味は明確である。モデル、エージェントハーネス、オーケストレーター、スケジューラのすべてを Windows 端末上（NVIDIA RTX GPU、VRAM 24GB 以上）で実行する「ローカルファースト」構成であり^{1,3}、必要時のみユーザーの許可を得て単一ステップをクラウド上の 15 以上のフロンティアモデルへエスカレーションする³。「Portable」はノート PC や USB での持ち運びを意味する名称ではなく、処理を自らのハードウェア上へ移すという趣旨と解される（公式説明に基づく解釈）。

対象は Pro（月 20 ドル）／Max（月 200 ドル）加入者で、個人・エンタープライズ双方が対象、Microsoft Store 経由の Windows 版アプリで提供される^{1,2}。最大の批判点は 24GB VRAM というハードウェア要件であり、旧世代の RTX 3090（24GB）が対応する一方、2 世代新しい RTX 5080（16GB）は非対応という逆転現象が指摘されている^{4,5}。

2. 確認された事実

2.1 発表の存在・日付・製品名

- Perplexity は 2026 年 9 月 14 日付の公式ブログ「Portable Computer for Windows is here」で、Portable Computer が Windows 版 Perplexity アプリで利用可能になったと発表した¹。
- NVIDIA も同日、公式ブログ（著者 Gerardo Delgado、2026 年 9 月 14 日 15:00 UTC 公開）で「Perplexity Portable Computer Is Now Available on Windows, Powered by NVIDIA RTX」として同時発表した²。
- 正式名称は「Portable Computer」であり、2026 年 2 月に発表されたクラウド版エージェント「Perplexity Computer」⁶のローカル版に当たる。後述の「Personal Computer」とは別製品であり、名称の混同に注意を要する^{7,3}。
- Perplexity CEO の Aravind Srinivas 氏は 9 月 14 日、X 上で、NVIDIA との協業を拡大し RTX GPU 搭載の Windows PC に完全ローカルな AI を提供する旨を投稿し、「Unmetered local intelligence on every Windows PC」と表現した^{8,4}。ただし本調査では X 原文ページに直接アクセスできておらず、逐語テキストは Tom's Hardware 記事経由で確認したものである。

2.2 提供条件・価格・対象 OS・入手方法

- **対象プラン**：Perplexity Pro（月 20 ドル）および Max（月 200 ドル）の加入者。個人プランとエンタープライズプランの双方が対象^{1,2}。
- **入手方法**：Microsoft Store 経由で Windows 版 Perplexity アプリをダウンロードし、モデルのドロップダウンから選択して、利用したいローカルモデルをワンクリックでダウンロードする^{2,9}。
- **ハードウェア要件**：NVIDIA GeForce RTX または RTX PRO GPU で、VRAM 24GB 以上。オンデバイス推論に必須^{1,4}。
- **従来の対応環境**：2026 年 8 月時点では NVIDIA DGX Spark および Linux 搭載の RTX PC のみが対象であった³。NVIDIA DGX Station への対応は計画されているが、時期は公表されていない²。
- **Mac 対応**：Portable Computer（完全ローカル版）は macOS 非対応で、公表済みロードマップにも含まれていない。Mac 向けには別途、ハイブリッド版の「Personal Computer」が提供されている⁷。

- **価格**：Portable Computer 自体の追加料金は発表されておらず、Pro／Max サブスクリプションに含まれる形と読み取れる¹。

2.3 「ローカル」「Portable」の意味と技術構成

- **完全ローカル実行**：Perplexity 公式は、モデル・エージェントハーンネス・オーケストレーター・スケジューラのすべてを Windows 端末上で実行すると説明している¹。プランナー、ツールルーター、永続タスクキュー、ローカル検索インデックスも端末上で動作する³。
- **ローカル LLM（オンデバイス推論）**：使用モデルについては公式情報間に食い違いがある。Perplexity 公式製品ページは Windows RTX PC で利用可能なローカルモデルを **PPLX 27B** のみ（Qwen 3.8 27B は Windows RTX PC では利用不可）とし、「一度に実行できるローカルモデルは 1 つ」と記載しているとされ¹⁰、窓の杜も同旨を報じている⁹。他方、NVIDIA 公式ブログはセットアップ対象として「Qwen 3.8 27B」を挙げており²、両者の食い違いは Progressive Robot が指摘している¹¹。DGX Spark／Linux 版では Qwen 3.8 27B と PPLX 27B の両方が選択可能である³。
- **PPLX 27B**：Alibaba のオープンウェイトモデル Qwen 3.8 27B（Apache 2.0）を Perplexity がポストトレーニングした派生モデル^{3,12}。NVIDIA Nemotron 3.5 Lightning（30B）が近日追加予定とされる^{2,9}。
- **コンテキスト長**：両モデルとも公称約 26 万トークンだが、Perplexity の実験では約 10 万トークンを超えると性能が劣化し始めるとされる^{12,13}。このためハーンネスはシステムプロンプトと常時ツールを小さく保ち、スキルを必要時のみロードする設計を採る¹²。
- **ハイブリッド構成（許可制クラウドエスカレーション）**：ローカルで完結する処理は Perplexity Computer のクレジットを消費しない。Web 検索や高度な推論が必要な場合、オーケストレーターが停止し、その単一ステップをユーザー許可のうえで 15 以上のクラウドフロンティアモデルへエスカレーションする³。送信前にオンデバイスの PII 分類器（「Privacy Gate」として製品化）が送信内容を精査し、端末外へ出る内容を明示する^{14,3}。
- **ローカルツール連携**：ローカル MCP（Model Context Protocol）サーバーを通じてデスクトップアプリのツール・データを利用する。コネクターとして Microsoft Outlook、OneDrive、Word、Google Drive、Gmail、Slack、GitHub に対応^{1,2}。
- **セキュリティ設計**：コードとツールの実行は独立したサンドボックス環境（Perplexity 独自の「SPACE」サンドボックス）で行われ、ファイルと連携アプリへのアクセスは制御される。セキュリティ水準はクラウド版 Perplexity Computer と同等とされる^{3,13}。

- **スケジュール実行**：ローカルモデルで定期的なワークフロー（分析、ファイル処理等）を端末上で実行できる¹。

Perplexity のエージェント製品ラインは名称が紛らわしいため、下表に整理する。

名称	発表時期	位置づけ	実行形態	対応環境
Perplexity Computer	2026 年 2 月 ⁶	クラウド版エージェント（本体）	クラウド	Web
Personal Computer	2026 年 4 月（Mac）、7 月 28 日（Windows） ^{7,15}	クラウド版をデスクトップに拡張したハイブリッド版。ローカルファイル + Microsoft 365 + Web を扱い、Comet browser を制御 ^{7,16}	ハイブリッド	macOS／Windows
Portable Computer	2026 年 8 月 25 日（DGX Spark／Linux）、9 月 14 日（Windows） ^{3,1}	完全ローカル版。許可制でクラウドへ単一ステップをエスカレーション	ローカル（+ 許可制クラウド）	Linux（DGX Spark）／Windows（RTX 24GB 以上）
Comet	—	AI ネイティブブラウザ。Computer が制御する内蔵ブラウザとして機能 ⁷	—	—

2.4 ベンチマーク（自社評価・第三者検証なし）

Perplexity が公表したベンチマークはすべて自社評価であり、かつ DGX Spark 上で測定した数値である。Windows RTX PC 固有の数値は公表されていない^{12,11}。

指標	Portable Computer（DGX Spark）	比較対象・備考
Local Knowledge Work Bench（53 タスク、Perplexity 独自・未公開）	Qwen ベース 82.6%／PPLX 27B 85.4% ^{12,11}	オープンソースハーネスの Pi 77.6%、Hermes 74.0%。PPLX 27B はトークン消費が多い（678k 対 Qwen 520k） ¹¹
BrowseComp（Web 調査）	66.7% ¹²	Computer は Perplexity Search、Pi／Hermes は Brave を使用しており検索エンジンの差が混在 ¹²
ParseBench-100	65.1% ¹²	—
Terminal Bench 2.1	完全ローカル 59.6%／クラウドエ	参考：Claude Opus 5 単体 82.4%（約

指標	Portable Computer (DGX Spark)	比較対象・備考
	スケーション 73.0% (推定 API コスト約 0.415 ドル/rollout) ¹²	0.65 ドル/rollout) ^{12,14}

Perplexity 自身も、これらが自社評価であること、Local Knowledge Work Bench は未公開で技術レポートと併せて将来公開予定であることを明記している ¹²。第三者による独立検証は本調査時点で確認できない。

2.5 経緯・製品ラインの位置づけ

時期	出来事	出典
2026 年 2 月 25 日	クラウド版「Perplexity Computer」発表	[6]
2026 年 4 月	Mac 版「Personal Computer」発表（ハイブリッドアーキテクチャ）	[7]
2026 年 7 月 28 日	「Personal Computer for Windows」発表。10 億台超の Windows デバイスを対象と喧伝。当初は Max/Enterprise Max 限定・ウェイトリスト制	[15] [17]
2026 年 8 月 25 日	「Portable Computer」を NVIDIA DGX Spark 向けに発表（Linux 先行）。Windows 対応を「近く」と予告	[3] [18]
2026 年 9 月 14 日	Portable Computer の Windows 版提供開始（本件）	[1] [2]

2.6 セキュリティ・プライバシー上の既存論争

- **Comet browser のプロンプトインジェクション脆弱性**：Brave Security Team（Artem Chaikin、Shivan Kaul Sahib）は 2025 年 8 月 20 日、Comet における間接プロンプトインジェクションを開示した ¹⁹。LayerX（CEO Or Eshed）は、悪意ある URL 経由でメール・カレンダー等の連携データを窃取する「CometJacking」の概念実証を公開した ^{20,21}。LayerX の報告（8 月 27 日にプロンプトインジェクション、8 月 28 日にデータ窃取）に対し、Perplexity のセキュリティチームは当初、セキュリティ上の影響を特定できず「単純なプロンプトインジェクション」に過ぎないとして「該当なし」と処理したと報じられている ²²。Bruce Schneier 氏らセキュリティ専門家も AI ブラウザ全般への懸念を表明している ²³。
- **著作権訴訟**：News Corp 傘下の Dow Jones/New York Post が 2024 年 10 月、大規模な違法複製を主張して提訴した ²⁴。その後、CNN、New York Times、Encyclopaedia Britannica/Merriam-Webster、Reddit、Amazon 等も提訴したとされ ^{25,26}、2026 年 6 月時点で判決・和解金支払いに至った事案はないとされる ²⁶。

- **プライバシー集団訴訟**：Doe v. Perplexity AI（2026 年 3 月 31 日提訴、Meta Pixel 等を通じた会話データ送信を主張）は 2026 年 5 月 1 日に取り下げられた（without prejudice、再提訴の可能性は残る）とされる。Perplexity は疑惑を否定している²⁷。

2.7 反響・評価

- **報道の広がり**：Tom's Hardware、TechSpot、The New Stack、VentureBeat、SiliconANGLE、AI Business、Unite.AI 等の主要技術メディアが幅広く報道した^{4,28,5,18,17,29,30}。
- **24GB VRAM というハードウェアゲート（最大の批判点）**：The New Stack は見出しで「one expensive catch」と表現した⁵。Progressive Robot は Steam のハードウェア調査データを引用し、対応カード保有者よりも「要件を満たさない上位カード（RTX 5080／4080／4080 SUPER 等、計約 3.01%）」の保有者の方が約 2 倍多いと指摘した¹¹。
- **逆転現象**：RTX 3090（24GB、旧世代）は対応するが、2 世代新しい RTX 5080（16GB）は非対応。Tom's Hardware は「世代のゲートではなく VRAM のゲート」と評した。対応カードは RTX 3090／3090 Ti、4090（各 24GB）、5090（32GB）、RTX PRO Blackwell 4000（24GB）以上など⁴。
- **「ローカル」の実態への懐疑**：コネクターやクラウドエスカレーションがあるため完全に閉じた環境ではない。VentureBeat は Ollama との違いを「Ollama が推論レイヤーを解決するのに対し、Portable Computer はその上のエージェントハーネス層を狙う」と整理し、Perplexity の Nate Kupp 氏は努力の大部分がエージェントハーネスのレベルにあると説明した¹⁸。The New Stack も LM Studio／Ollama とは「別のレーン」と評価している⁵。
- **企業導入の課題**：AI Business（Ouisaal 氏）は、企業がこの技術を活用するには Microsoft および Windows エコシステムとの連携が必要であり、ローカル推論環境の構築は依然として複雑だと指摘した²⁹。
- **開発者コミュニティ**：Hacker News 等では、Perplexity の価値提案・差別化が薄い（あるいは伝わっていない）、Apple の新 Mac 発表日と重なったタイミングが不利、といった声があったとされるが、本調査では一次スレッドへのアクセスが制限され一部しか確認できていない（出典未特定、参考情報）。

2.8 日本での提供状況・日本語対応・日本の報道

- 日本の主要 IT メディアが報道している：窓の杜⁹、AI Watch³¹（いずれも Impress、Windows 版提供開始を報道）、マイナビニュース³²、GIGAZINE³³（いずれも 8 月の DGX Spark 版発表を報道）。

- Perplexity 公式ブログには日本語版ページが存在する（「Portable Computer のご紹介」）³⁴。
- 窓の杜によれば、Windows RTX PC で現時点で利用できるローカルモデルは PPLX 27B のみで、Nemotron 3.5 Lightning が近日対応予定、同時に実行できるローカルモデルは 1 つである⁹。
- 日本固有の提供制限・地域制限に関する明示的な情報は確認できず（グローバルな Windows 版アプリ経由で提供されると解される）。日本語 UI の詳細も未確認である。

3. 分析・推測

3.1 競争環境

- **対 Microsoft**：Windows という「相手の土俵」で、Microsoft の Copilot／Windows のエージェント機能と直接競合する構図である。ただし Perplexity は NVIDIA と組み、Copilot+ PC の NPU ではなく NVIDIA RTX GPU（24GB VRAM）を要件とする点が特徴的である。Microsoft の Copilot+ PC 機能は主に NPU 要件を前提とし、GPU 対応は実験段階（RTX 30 系 6GB 以上、Developer Mode 必須）にとどまると報じられている³⁵。このコントラストは、Perplexity が Microsoft のハードウェア戦略とは独立に NVIDIA エコシステムへ賭けたことを示唆する（分析）。
- **対 Anthropic／OpenAI／Google**：Anthropic は 2026 年 3 月に Claude によるコンピュータ操作機能を発表しており³⁶、OpenAI の Operator／Codex 系のコンピュータ操作、Google の Project Mariner なども競合と位置づけられる（一般的整理、分析）。Perplexity の差別化は「完全ローカル実行＋ゼロトークンコスト＋許可制クラウドエスカレーション」の組み合わせにあると考えられる（分析）。
- **戦略転換とリスク**：Perplexity は「検索（answer engine）からエージェントへ」の転換を進めており、企業向けにも Computer を展開している³⁷。Portable Computer はその最前線である。ただし、そのオーケストレーション戦略は競合他社（Anthropic、Google、OpenAI、xAI）の API への継続的アクセスに依存するリスクを抱えると VentureBeat も指摘している¹⁸。

3.2 今後の影響（企業・情報ガバナンス・知財）

- **PC 業務の自動化**：請求書照合、PR レビュー、ファネル分析等の定期タスクをローカルで自動化できる点は、機密データを扱う金融・法務・エンジニアリング部門に訴求力がある（分析）。ただし 24GB VRAM 要件が普及の障壁となる。
- **情報ガバナンス**：「ローカル完結」は魅力だが、コネクタ（Gmail、Slack 等）やクラウドエスカレーションを通じて端末境界を越える経路が残る。情報管理部門は「ローカル＝安全」と即断せず、①フォルダスコープ・権限設定、②クラウドエスカレーション（Privacy Gate）の許可運用、③監査ログ、④端末そのものの盗難・OS 更新・バックアップ管理を含めて評価すべきである（分析）。
- **知財・生成物の取扱い**：Perplexity の著作権訴訟が未解決である点、および Comet 経由の Web 操作にプロンプトインジェクションのリスクが残る点は、機密文書へのエージェントアクセスを許可する前に、法務・情報セキュリティ部門が精査すべき論点である（分析）。生成物の権利帰属・利用規約上の扱いも、導入前に規約を確認する必要がある。
- **企業導入の見通し**：エンタープライズ版 Computer では SOC 2 Type II 認証やゼロデータ保持オプションが整いつつあるとされるが³⁷、Portable Computer 固有のエンタープライズ統制の詳細やベンチマークの第三者検証は今後の課題である（分析）。

4. 推奨アクション（段階的）

1. **短期（評価フェーズ）**：「Portable Computer」「Personal Computer」「Comet」を社内では明確に区別して整理する。パイロットは限定ユーザー・限定フォルダ・限定コネクタで開始し、24GB VRAM 要件を満たす端末（RTX 3090／4090／5090、RTX PRO 4000 以上）を保有する部署に絞る。
2. **中期（統制設計）**：クラウドエスカレーション（Privacy Gate）の許可ポリシー、監査ログのレビュー体制、コネクタ経由で端末外へ出るデータ範囲の棚卸しを実施する。機密度分類に応じたフォルダスコープ運用ルールを策定する。
3. **判断を変える閾値**：①Local Knowledge Work Bench の公開と第三者検証、②DGX Station 対応や下位 VRAM 対応によるハードウェア障壁の低下、③Comet 脆弱性および著作権訴訟の帰趨、④Windows 固有ベンチマークの公開——これらが揃えば本格導入を再検討する価値がある。逆に、クラウドエスカレーションの範囲が不透明なまま、または訴訟リスクが顕在化する場合は導入を保留すべきである。

5. 留意点

- ベンチマーク数値はすべて Perplexity 自社評価であり、第三者による独立検証はない。Local Knowledge Work Bench も未公開。公表数値は DGX Spark のものであり、Windows RTX PC 固有の数値は未公開である¹²。
- 使用ローカルモデルについて、Perplexity 公式製品ページ（Windows=PPLX 27B のみ）と NVIDIA 公式ブログ（Qwen 3.8 27B をセットアップ対象と記載）に食い違いがある^{10,2,11}。
- CEO の X 投稿の逐語テキストは Tom's Hardware 経由で確認したものであり、X 原文ページには直接アクセスできていない⁴。
- Portable Computer 自体の追加価格は発表されておらず、Pro/Max サブスクリプションに含まれる形と解される。
- 「Portable」の語は誤解を招きやすい。ノート PC や USB での持ち運びではなく、処理を自らのハードウェアへ移す（ローカル実行する）という意味である（公式説明に基づく解釈）。
- 日本固有の提供・地域制限や日本語 UI の詳細は確認できず、未確認である。
- Comet脆弱性や Doe v. Perplexity 訴訟の一部は法的・事実に未確定であり、「との報道」「とされる」レベルの情報を含む。

参考文献

URL は調査時点（2026 年 9 月 15 日）の検索結果・取得ページに基づく。「※」を付したものは、本調査で一次ページへの直接アクセスを確認していない。

- [1] Perplexity 公式ブログ「Portable Computer for Windows is here」2026 年 9 月 14 日
<https://www.perplexity.ai/hub/blog/portable-computer-for-windows-is-here>
- [2] NVIDIA 公式ブログ（Gerardo Delgado）「Perplexity Portable Computer Is Now Available on Windows, Powered by NVIDIA RTX」2026 年 9 月 14 日
<https://blogs.nvidia.com/blog/local-ai-perplexity-windows-pcs/>
- [3] Perplexity 公式ブログ「Introducing Portable Computer for local-first AI」2026 年 8 月 25 日
<https://www.perplexity.ai/hub/blog/introducing-portable-computer-for-local-first-ai>
- [4] Tom's Hardware 「Perplexity's local AI agent comes to Windows, but only for RTX GPUs with at least 24GB of VRAM」2026 年 9 月 15 日
<https://www.tomshardware.com/tech-industry/artificial-intelligence/perplexitys-local-ai-agent-comes-to-windows-but-only-for-rtx-gpus-with-at-least-24gb-of-vram-portable-computer-brings-ai-for-multistep-tasks-to-compatible-pcs>
- [5] The New Stack 「Perplexity's new agent runs entirely on your GPU — with one expensive catch」2026

年 9 月 14 日

<https://thenewstack.io/perplexity-portable-computer-windows/>

[6] Perplexity 公式ブログ「Introducing Perplexity Computer」2026 年 2 月 25 日

<https://www.perplexity.ai/hub/blog/introducing-perplexity-computer>

[7] Perplexity Help Center「What is Personal Computer?」

<https://www.perplexity.ai/help-center/en/articles/14659663-what-is-personal-computer>

[8] ※ Aravind Srinivas (Perplexity CEO) X (旧 Twitter) 投稿、2026 年 9 月 14 日 (原文 URL 未確認。
逐語テキストは Tom's Hardware 記事経由で確認)

[9] 窓の杜 (Impress)「『Perplexity』のローカル AI エージェント『Portable Computer』が Windows で
も利用可能に、VRAM 24GB 以上の NVIDIA RTX GPU で」2026 年 9 月

<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/2140871.html>

[10] ※ Perplexity 公式製品ページ「Portable Computer」(本調査では本文中の言及に基づき参照。直接ア
クセスは未確認)

<https://www.perplexity.ai/hub/products/portable-computer>

[11] Progressive Robot「Portable Computer for Windows: Simple, Smart Perplexity AI」2026 年 9 月 14 日

<https://www.progressiverobot.com/2026/09/14/perplexity-portable-computer-for-windows-nvidia-rtx-gpus/>

[12] Perplexity 公式研究記事「A Local-First Agent for Private and Cost-Effective Knowledge Work」2026
年 8 月 25 日

<https://www.perplexity.ai/hub/blog/a-local-first-agent-for-private-and-cost-effective-knowledge-work>

[13] Layer3Labs「Perplexity Portable Computer Explained (2026 Launch)」

<https://www.layer3labs.io/guides/perplexity-portable-computer-explained>

[14] OrcaRouter「PPLX 27B in Portable Computer: 85.4% Local Agent, \$0 Tokens」

<https://www.orcarouter.ai/blog/pplx-27b-portable-computer-launch>

[15] Perplexity 公式ブログ「Personal Computer is now available on Windows」2026 年 7 月 28 日

<https://www.perplexity.ai/hub/blog/personal-computer-on-windows>

[16] Perplexity 公式製品ページ「Personal Computer for Windows」

<https://www.perplexity.ai/hub/products/computer-for-windows>

[17] SiliconANGLE「Perplexity brings its Personal Computer AI agent to Windows」2026 年 7 月 28 日

<https://siliconangle.com/2026/07/28/perplexity-brings-personal-computer-ai-agent-windows/>

[18] VentureBeat「Perplexity partners with Nvidia to launch Portable Computer, a fully local AI agent with
zero token costs」2026 年 8 月 25 日

<https://venturebeat.com/infrastructure/perplexity-partners-with-nvidia-to-launch-portable-computer-a-fully-local-ai-agent-with-zero-token-costs>

[19] Brave「Agentic Browser Security: Indirect Prompt Injection in Perplexity Comet」2025 年 8 月

<https://brave.com/blog/comet-prompt-injection/>

[20] LayerX「CometJacking: How One Click Can Turn Perplexity's Comet AI Browser Against You」

- <https://layerxsecurity.com/blog/cometjacking-how-one-click-can-turn-perplexitys-comet-ai-browser-against-you/>
- [21] The Hacker News 「CometJacking: One Click Can Turn Perplexity's Comet AI Browser Into a Data Thief」 2025 年 10 月
<https://thehackernews.com/2025/10/cometjacking-one-click-can-turn.html>
- [22] BleepingComputer 「CometJacking attack tricks Comet browser into stealing emails」
<https://www.bleepingcomputer.com/news/security/cometjacking-attack-tricks-comet-browser-into-stealing-emails/>
- [23] Schneier on Security 「Prompt Injection in AI Browsers」 2025 年 11 月
<https://www.schneier.com/blog/archives/2025/11/prompt-injection-in-ai-browsers.html>
- [24] TechCrunch 「'Content kleptocracy': News Corp outlets sue Perplexity over scraped stories」 2024 年 10 月 21 日
<https://techcrunch.com/2024/10/21/content-kleptocracy-news-corp-outlets-sue-perplexity-over-scraped-stories>
- [25] Bloomberg Law 「News Outlets' Perplexity AI Suits Strike at Existential Threat」
<https://news.bloomberglaw.com/ip-law/news-outlets-perplexity-ai-suits-strike-at-existential-threat>
- [26] Lawsuits Journal 「Perplexity AI Sued by CNN, NYT, Amazon — Inside Every Active Case」 (二次的まとめ記事)
<https://lawsuitsjournal.com/perplexity-ai-lawsuit/>
- [27] TechTimes 「Perplexity Brings AI Desktop Agent to Windows, Routing Tasks Across 20 Models」 2026 年 7 月 28 日
<https://www.techtimes.com/articles/321882/20260728/perplexity-brings-ai-desktop-agent-windows-routing-tasks-across-20-models.htm>
- [28] TechSpot 「Perplexity and Nvidia launch "Portable Computer," a local AI agent for Nvidia GPUs」
<https://www.techspot.com/news/113622-perplexity-latest-ai-agent-runs-entirely-local-computers.html>
- [29] AI Business 「Cost Challenges With Perplexity Portable Computer」
<https://aibusiness.com/generative-ai/challenges-with-perplexity-portable-computer>
- [30] Unite.AI 「Perplexity Brings Its Local Portable Computer Agent to Windows PCs」
<https://www.unite.ai/perplexity-brings-its-local-portable-computer-agent-to-windows-pcs/>
- [31] AI Watch (Impress) 「NVIDIA RTX 搭載 Windows PC で Perplexity のローカル AI エージェント機能が利用可能に」 2026 年 9 月
<https://ai.watch.impress.co.jp/docs/news/2141094.html>
- [32] マイナビニュース 「Perplexity、ローカル実行型 AI エージェント『Portable Computer』発表 NVIDIA と共同開発」 2026 年 8 月 26 日
<https://news.mynavi.jp/article/20260826-4869384/>
- [33] GIGAZINE 「『Perplexity Computer』の完全ローカル版『Portable Computer』を Perplexity がリリース」 2026 年 8 月 26 日

<https://gigazine.net/news/20260826-perplexity-portable-computer/>

[34] Perplexity 公式ブログ（日本語版）「Portable Computer のご紹介」

<https://www.perplexity.ai/ja/hub/blog/introducing-portable-computer-for-local-first-ai>

[35] TechSpot 「Microsoft is now letting Nvidia GPUs run local AI features that were locked to Copilot+ PCs」

<https://www.techspot.com/news/112729-microsoft-now-letting-nvidia-gpus-run-local-ai.html>

[36] CNBC 「Anthropic says Claude can now use your computer to finish tasks for you in AI agent push」
2026 年 3 月 24 日

<https://www.cnbc.com/2026/03/24/anthropic-claude-ai-agent-use-computer-finish-tasks.html>

[37] VentureBeat 「Perplexity takes its 'Computer' AI agent into the enterprise, taking aim at Microsoft and Salesforce」

<https://venturebeat.com/technology/perplexity-takes-its-computer-ai-agent-into-the-enterprise-taking-aim-at>